

注3

大学番号：146

[平成24年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

横浜創英大学

注2

【認可】設置に係る改善意見等対応状況報告書

学校法人堀井学園

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 横浜創英大学

職名・氏名 キカク カチョウ シミスミチアキ
企画課長・清水道明

電話番号 045-922-5641

（夜間） 045-922-6113

F A X 045-922-5642

e-mail kikaku@soei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の

提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. AC対象学部等を含む大学等の状況	2
3. 教員組織の状況	3
4. 前年度のAC調査において付された意見への対応状況	4

こども教育学部

<幼児教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	5
2. AC対象学部等を含む大学等の状況	6
3. 教員組織の状況	7
4. 前年度のAC調査において付された意見への対応状況	8

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人堀井学園

(2) 大学名

横浜創英大学

(3) 大学の位置

〒226-0015

神奈川県横浜市緑区三保町1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4 年	80 人	- 年次 人	320 人	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

2 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	横浜創英大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
看護学部 看護学科	4	80	0	320	学士 (看護学)	1.11	平成24年度	神奈川県横浜市緑区三保町1番地	
こども教育学部 幼児教育学科	4	80	0	320	学士 (教育学)	0.69	平成24年度	神奈川県横浜市緑区三保町1番地	
大学の名称	横浜創英大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
看護学研究科	2	6	0	12	修士 (看護学)	1.08	平成28年度	神奈川県横浜市緑区三保町1番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

3 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 設置基準上の必要専任教員数

現在（報告書提出時）における設置基準上の必要専任教員数	うち、現在（報告書提出時）における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
9	4	9	8	30	10	7	7	7	31
(7)	(1)	(5)	(8)	(21)					

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

(3) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
65 歳	5 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(4) 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{31}{30} = \boxed{103.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{5}{31} = \boxed{16.12} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況		未履行事項についての実施計画
<p>・書類不備を防ぐために、事務組織を改組しチェック体制を充実させたとのことだが、設置計画履行状況報告書に依然として多数の誤りがある。本質的な改善に結びついていないと思われるため、作業手順の見直し等の方策を検討し、速やかに導入すること。 (看護学部看護学科、こども教育学部幼児教育学科)</p>	改善意見	<p>書類を作成する場合は、学務課・企画課を中心としたプロジェクトチームを組成し、書類作成責任者は作成する書類の意味をプロジェクトチームに十分理解させるとともに、作成方法についてもきめ細かく指導する。作成した書類については、学部長等を含む関係部署の職位者がチェックした後、事務局部課長会で確認を行い、最終的に学長が決裁する。</p>	履行済	
<p>・看護学研究科看護学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>退職教員の後任選考にあたっては、教育研究実績のみならず年齢も視野に入れて行っていく。今後、年齢の低い教員を採用し、順次入れ替えていくことにより、また、学部の教育研究実績のある若手教員を大学院担当にするなど、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努める。29年度末に特例規程に基づく定年を迎え准教授1名が退職した一方、予て検討していたとおり、学部の中堅准教授2名を大学院教員とする予定である。</p>	未履行	<p>学部の中堅准教授は、本年度後期より大学院教員とする方針。</p>

(注) ・前年度の設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、

付された意見に対する履行状況等について具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。

・「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人堀井学園

(2) 大学名

横浜創英大学

(3) 大学の位置

〒226-0015

神奈川県横浜市緑区三保町1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
こども教育学部 幼児教育学科 学士(教育学)	教育学・保育 学関係	4 年	80 人	- 年次 人	320 人	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

2 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	横浜創英大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
こども教育学部 幼児教育学科	4	80	0	320	学士 (教育学)	0.69	平成24年度	神奈川県横浜市緑区三保町1番地	
看護学部 看護学科	4	80	0	320	学士 (看護学)	1.11	平成24年度	神奈川県横浜市緑区三保町1番地	
大学の名称	横浜創英大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
看護学研究科	2	6	0	12	修士 (看護学)	1.08	平成28年度	神奈川県横浜市緑区三保町1番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

3 教員組織の状況

＜こども教育学部 幼児教育学科＞

(1) 設置基準上の必要専任教員数

現在（報告書提出時）における設置基準上の必要専任教員数	うち、現在（報告書提出時）における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
9	5	4	2	20	6	4	4	2	16
(9)	(5)	(4)	(2)	(20)					

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

(3) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
65 歳	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(4) 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{20} = \boxed{80} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{2}{16} = \boxed{12.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況		未履行事項についての実施計画
<p>・書類不備を防ぐために、事務組織を改組しチェック体制を充実させたとのことだが、設置計画履行状況報告書に依然として多数の誤りがある。本質的な改善に結びついていないと思われるため、作業手順の見直し等の方策を検討し、速やかに導入すること。 (看護学部看護学科、こども教育学部幼児教育学科)</p>	改善意見	<p>書類を作成する場合は、学務課・企画課を中心としたプロジェクトチームを組成し、書類作成責任者は作成する書類の意味をプロジェクトチームに十分理解させるとともに、作成方法についてもきめ細かく指導する。作成した書類については、学部長等を含む関係部署の職位者がチェックした後、事務局部課長会で確認を行い、最終的に学長が決裁する。</p>	履行済	
<p>・看護学研究科看護学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>退職教員の後任選考にあたっては、教育研究実績のみならず年齢も視野に入れて行っていく。今後、年齢の低い教員を採用し、順次入れ替えていくことにより、また、学部の教育研究実績のある若手教員を大学院担当にするなど、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努める。29年度末に特例規程に基づく定年を迎え准教授1名が退職した一方、予定検討していたとおり、学部の中堅准教授2名を大学院教員とする予定である。</p>	未履行	<p>学部の中堅准教授は、本年度後期より大学院教員とする方針。</p>

- (注) ・前年度の設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。
- ・「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。